

# 政策連合 新規案件について

## 1 口蹄疫対策（迅速・適確な家畜防疫及び肉豚流通体制の整備）

<幹事県> 大分県

<参加県> 九州、沖縄、山口の全9県

<取組内容>

### 1. 防疫対策

口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ等、感染力の著しく強い家畜伝染病の発生に対し、県境を越えた迅速・適確な防疫対策の確立を図る。

- ①情報の綿密な共有化
- ②発生を想定した家畜防疫員、防疫作業員の協力体制確立
- ③消毒ポイントの機能的な設置

### 2. 肉豚流通対策

口蹄疫の発生により搬出制限区域内の食肉市場が閉鎖された場合、当該市場に出荷できなくなった制限区域外の養豚農家の肉豚について、九州全体の食肉市場で出荷先を調整し、受入できる体制を検討する。

## 2 産科・歯科・行政が連携して取り組む早産予防対策

<幹事県> 熊本県

<参加県> 九州、山口の全8県

<取組内容>

極低出生体重児（1500g未満の出生児）をはじめ、小さく生まれる子どもの割合が全国的にも高くなってきている現状があり、早産を予防することは各県にとっても喫緊の課題となっている。

これまで、喫煙やストレスといった環境性要因の早産予防対策等が行われてきたが、この度、熊本県において、新たに感染症要因に着目し、産科・歯科・行政が連携して妊婦に対しての早産予防対策を行い、モデル地域での極低出生体重児の出生を例年の約3割に抑えることができ、一定の成果が得られた。

このことから、九州各県の担当者を対象に会議、研修会を開催し、熊本県が取り組んだ事業手法を参考例に、各県でできる早産予防の取組みを検討、九州各県連携することで早産予防の取組みの効果を高め、妊婦への周知・啓発を図っていく。